

2020年 2月 浜松聖書集会のご案内

(時間 : 午前10時 ~ 正午)

- 2月 2 (日) 集会 (アクト研修交流センター404号室)
司会 : 大屋 智代 感話 : 伊藤 純子
聖書講話 : マルコによる福音書 3章1~19 節
「安息日の癒やしと十二弟子の選任」 水戸 潔
- 2月 9日 (日) 集会 (アクト研修交流センター403号室)
司会 : 溝口 春江 感話 : 岩田 堯
聖書講話 : ヨハネによる福音書 12章20~36節
「永遠の命」 堀沢 六郎
- 2月23日 (日) 集会 (アクト研修交流センター403号室)
司会 : 相原 夏江 感話 : 生江 扶左子
聖書講話 : イザヤ書 24~27章
「塵の中に住む者よ、目覚よ、喜び歌え」 武井 陽一

…通 信…

- 2. 11 思想と信教の自由を守る静岡県西部集会 (第40回)
日時 : 2月11日 (火) 14時~16時 場所 : 地域情報センター
講演演題 : 「信教の自由の現在~教会の一牧師として今考えていること~」
講師 : 佐藤司郎氏 (日本キリスト教団仙台北三番丁教会牧師、東北学院大学
名誉教授)
- 日本キリスト者医科連盟静岡部会・デンマーク牧場福祉会 共催による講演会のお知らせ
場所 : デンマーク牧場 まきばの家
日時 : 2月22日 (土) 13時30分から 16時頃まで
内容 : 「最大のプレゼント ~隣人へのまなざし~」
ルカによる福音書4章1~4節
講師 : 島 しづ子氏 (名古屋堀川伝道所 牧師 愛美の会)

日毎に新しく生まれる

溝口 正

「一日は、私どもにとりては短き一生涯であります。朝生まれ、昼に働き、夜は復活の希望をいだいて眠りの床につきます。かくして私どもには一年に三六五回の生涯があります。なんと楽しいことではありませんか。」 (『統一日一生』はじめ 内村鑑三)

何という充実した言葉ではありませんか。このような「一日一生」という充実した一日を生きるためには、毎日がキリストに在ることによってのみ可能となるのであります。聖書は、キリストに在るならばそれができると教えております。

では、キリストに在るとはどういうことでしょうか。これはむつかしいことではなく、私たちが神にゆるされ愛されている神の子どもとして、父なる神に「天のお父さま」と呼び掛けて祈ることができればそれがキリストに在る証明であります。それができない時は、ちょっと危ないのです。毎日祈ること、聖書に親しむこと、父なる神の御声に霊の耳を傾けること、これを毎日するのがキリストに在る神の子どもたちの生活であります。 (1993年1月3日)